

(1) 教育活動全体で取り組む道徳教育の充実（小学校）

教育活動全体を通じて児童の道徳性をしっかりと養うために、どのようなことを心がければよいですか。

様々な教育活動が豊かな人格形成につながっていることを意識し、学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育を展開することが大切です。ここでは、日常の学校生活に着目した取組の例を紹介します。

実践事例の紹介

1 学校生活にある「気付かないこと」に目を向けさせる

学校生活では、様々な活動が行われる。その活動には、すべて意義があるが、児童はそれに気付けないことがある。そこで、活動の意義を考えさせる場を位置付け、繰り返し指導する。生活の中に、人々の思いが込められていることに気付くことにより、ものの見方が変わり、道徳性が育つことにつながると考えている。

【愛校当番の活動】

毎朝、高学年児童が率先して学校周辺を清掃する。20年以上続く伝統として受け継がれている。最近では、PTAや地域の方々と共に活動している。

2 道徳で学んだ価値と日々の生活をしっかりとつなぐ

児童の姿を見ていて、頭では分かっていることでも、行動につながらないと感じることがある。道徳の時間で学んだ価値が理解でき、日々の生活で実践できるように、例えば、授業で使った一枚絵に言葉を添えて掲示しておき、学んだ価値について振り返ることができるようにしている。



3 生徒指導と道徳的心情をつないで指導する

学校生活にはきまりがある。きまりがなぜ必要かを児童自身に考えさせる。「守りなさい。」「いけません。」と言うのではなく、道徳的価値とつなげて、根気強く児童の心に届くように指導を工夫する。また、あいさつや廊下歩行、掃除などの場面で教師自ら模範となり、繰り返し指導している。



教育活動全体で取り組む道徳教育の充実

- ◎ 学校生活や日常の生活の中から、道徳的価値にかかわることを見つけ、指導に生かしましょう。
- ◎ 道徳授業で学んだことと関連付けを図りながら指導を工夫しましょう。
- ◎ 児童の成長の過程をしっかりと把握し、継続して指導しましょう。

(2) 教育活動全体で取り組む道徳教育の充実（中学校）

教育活動全体を通じて、道徳的価値について自覚を深める場面を設定したいのですが、どのようなことを心がければよいですか。

生徒が自分とのかかわりで道徳的価値をとらえ、自分なりに発展させていくように、教育活動全体を通じて行う道徳教育と道徳の時間の指導とを関連付けて実践していくことが大切です。

実践事例の紹介

1 体育祭（特別活動）と関連付ける

- アンケート①「体育祭の中で自分は何ができるか。」
【道徳の時間】主題名：団結することの大切さ
- アンケート②「体育祭の中で自分は何ができるか。」
- 体育祭
- アンケート③「体育祭の中で自分は何ができるか。」



体育祭の練習が開始される以前に「団結することの大切さ」を主題にした道徳授業を行い、集団で取り組む意義について考えさせた。それと並行して、「集団で協力するために体育祭の中で自分は何ができるか。」について、文章で書き残す場を3度設定した。このような計画で実施したことにより、生徒は、体育祭での体験を思い出したり、自分の記述の変容に気付いたりして、協力することの大切さをとらえることができた。

2 校外学習（総合的な学習の時間）と関連付ける

3年校外学習「長崎に学ぶ」の前に、2年生で「ナガサキに翔ぶ」、3年生で「ふりそでの少女」という資料を用いて、平和の大切さを扱った道徳授業を行った。現地では「ふりそでの少女」の筆者の被爆体験を含めた話を聞くことで、命の尊さや平和への願いについて考えを深めることができた。



教育活動全体で取り組む道徳教育の充実

- ◎ 各教育活動の特質に応じて道徳教育にかかわる側面を明確にしましょう。
- ◎ 集団での活動や体験活動等のねらいを明確にして、道徳的実践の場として位置付けましょう。
- ◎ 道徳の時間の位置付けを工夫して、関連付けた指導をしましょう。

(3) 仲間との活動における道徳教育の充実（中学校）

生徒同士のかかわりを通じて、道徳教育の充実を図りたいと思いますが、どのようなことを心がければよいですか。

よりよい人間関係を築こうとする態度や人間としての生き方についての自覚を深めることをねらい、生徒同士のかかわりを深める活動を行うことが大切です。事前・事後の指導の在り方等、指導の工夫が求められています。

実践事例の紹介

1 体験活動やその事前・事後に振り返りを行い、自己理解を深める

【仲間とともに頑張る自分を好きになろう】

- 野外体験学習：キャンプにおける問題解決や振り返りの場面において、自発的な発言を大切にすると雰囲気の中で、互いの思いを伝え合い、自己を見つめさせた。
- 学習発表会：野外体験学習の発表会で、キャンプで問題解決をする仲間や自分の姿を再現させ、自分たちの成長を振り返る場を位置付けた。

2 グループによる課題解決の手法を学習に生かす

【思いやりの心にあふれた学級をつくろう】

- ① 「課題を共有する。」
- ② 「課題を解決するための話し合い（アイデア・作戦等）をする。」
- ③ 「振り返りを行い、次の活動に生かす。」

- 道徳の時間：いじめを解決する方法を考える。
被害者の気持ちに深く共感させ、いじめをなくすためにできることをグループで考えた。
- 宿泊体験学習：課題解決を通して道徳的判断力を養う。
KJ法等を用いグループで課題を解決させることにより、多面的な見方を生かして価値判断させた。
- 学級活動：よりよい学級の姿について考える。
あるべき学級の姿を一枚の紙に書き、年間を通し掲示した。
掲示物をもとに振り返り、よりよい学級の実現を意識させた。



【生徒のワークシート】

いじめが起きるかどうかを左右する大きな力をもっているのは、いじめの人以上に周りの人だと思いました。もし、いじめがあったら、友だちと話して大人に相談したり、いじめの人と話し合ったりして、そんなことをさせないようにしたいと思いました。

仲間との活動における道徳教育の充実

- ◎ 各教育活動のねらいを明確にし、事前・事後の指導等を工夫しましょう。
- ◎ 仲間の多様な考え方にふれるような活動を位置付けましょう。
- ◎ 自分の成長について振り返る場を位置付けましょう。

(4) 学校における重点的指導の工夫（小学校）

児童や地域の実態を踏まえた上で、学校として重点化した取組をしていきたいのですが、どのようなことを心がければよいですか。

児童の道德性の育ちの実態や家庭、地域の特色等をとらえ、校長のリーダーシップのもとで道德教育の重点目標を具体的に設定して取り組んでいくことが大切です。ここでは、「命を大切にすることを育む」というテーマでの取組の例を紹介します。

実践事例の紹介

1 指導計画の重点化を図る

- (1) 児童の実態や保護者・地域の願いを把握する。
- (2) 児童に今一番必要な道德性とは何かを明確にし、学校としての重点指導項目や発達段階に応じた学年・学級の重点項目を設定する。
- (3) 「ふれあう命」「支え合う命」「つながる命」など、テーマやキーワードを重点項目に付記して、取組のイメージを共有化しやすくする。

2 道德の時間における重点化を図る

- (1) 導入…生活、総合、特活などの体験活動において、「命」と自分がどうかかわってきたかを想起させることで、児童の意識が、「命」に向くよう方向付ける。
- (2) 展開…資料提示や発問の工夫により、価値を焦点化した思考活動から、より深い内面化を図る。
- (3) 終末…学習を通して高まった自分を実感させ、「心のめあて」をもって、「命」とかかわっていかこうとする意欲をもたせる。

3 道德の時間以外における取組の重点化を図る

- (1) 「命」につながる体験活動と道德の時間との関連する内容や方法を明確にする。
- (2) 自他の「命」の大切さを実感できるような雰囲気づくりや環境の整備を行う。
- (3) 道德授業の公開や、地域の人や保護者の参加を得た学習を展開するなどして、保護者や地域との連携を図る。



学校における重点的指導の工夫

- ◎ 道德教育の重点目標や具体的な取組について、全教師で共通理解をしましょう。
- ◎ より具体化したテーマやキーワードを設定するなどして、学年や学級での取組を展開しましょう。
- ◎ 家庭や地域との関連を図り、道德教育を一層充実させましょう。

(5) 学校における重点的指導の工夫（中学校）

生徒や地域の実態を踏まえた上で、学校として重点化した取組をしていきたいのですが、どのようなことを心がければよいですか。

学校の特色を生かした道徳教育を展開するためには、道徳の時間の計画的な実施と教育活動全体との意図的、計画的な関連付けを図ることが大切です。ここでは、「ボランティア精神の高揚」というテーマでの取組の例を紹介します。

実践事例の紹介

1 ボランティア精神を意識した道徳授業を実践する

海岸清掃前に、ボランティアの意義を扱った資料を用い、道徳授業を行った。この授業では、教師自身が阪神・淡路大震災で体験したボランティア活動の映像を用いて活動の様子を紹介した。また、新潟中越地震で被災した生徒の作文を補助資料として提示し、身近にできるボランティア活動について話し合った。



2 1日1ボランティアの取組を推進する

毎日の身近な活動の中で、ボランティアを意識させるために、生活ノートにその取組を記録する欄を設けた。担任がその取組を掲示しシールを用いて評価し、意識付けを図った。生徒の中に「ONEボラ」が定着し、気軽にボランティア活動に取り組む生徒が増えてきた。



3 ボランティアバンクを設立する

生徒が、自由に登録できるボランティアバンクを校内に設立した。地域での活動や校内の自主的な清掃などの情報を登録者に提供し、生徒自らが積極的に活動する機会を生み出すことができた。



学校における重点的指導の工夫

- ◎ 学校教育目標や生徒の実態等から、重点的に取り組む内容を選定しましょう。
- ◎ 生徒の取組に質的な深まりが図られるように指導を工夫しましょう。
- ◎ 道徳授業で学んだことと具体的な実践活動との関連を図りながら、継続して取り組みましょう。

(6) 話し合い活動における指導の工夫（中学校）

人間関係を豊かにするために話し合い活動を充実させたいと考えていますが、どのようなことを心がけて指導すればよいですか。

生徒が、友だちのものの感じ方や考え方を確かめたり、自分のものの感じ方や考え方を振り返ったりすることができるようにするために、生徒の実態に応じて話し合い活動における段階的な指導が必要です。

実践事例の紹介

1 道徳の時間と特別活動や総合的な学習の時間等とのつながりを強める

特別活動や総合的な学習の時間における体験などを生かした話し合い活動を計画的に位置付けるなど、日常から感じたことや考えたことを伝え合う機会を充実させる。また、学級全員の意見を認め合う雰囲気をつくるように働きかける。

2 話し合い活動を位置付ける目的を明確にする

- 話し合いを進める際の約束の徹底
 - 自己理解と他者理解による学びの共有化
- 話し合い活動を通してねらいに迫るためには、話し合い活動での約束が徹底され、新たな発見が共有されることが重要である。



3 話し合い活動を位置付けた実践

【特別活動】学年集会のプログラムを考えよう（2時間）

【道徳の時間】主題名：集団のよさ（1時間）

道徳の時間と特別活動とからなる学習プログラムを計画した。特別活動では、一人ひとりの発想の違いに着目させる活動や話し合い活動を位置付けて、他者の異なる考えを受容することをねらいとした。その後の道徳の時間では、資料を通して自分のよさと友だちのよさを見つめるとともに、特別活動で発見したことも思い出しながら、よりよい集団の在り方について考えを深めることができた。

話し合い活動における指導の工夫

- ◎ 教育活動全体の中で、生徒が自分の考えをもつ場を位置付けましょう。
- ◎ 話し合い活動における目的や約束を明確にして、指導しましょう。
- ◎ 話し合い活動を通して、生徒が友だちの考えを受け止め、自分の考えを吟味することができるように指導を工夫しましょう。

(7) 人間関係づくりの充実（中学校）

生徒同士の望ましい人間関係づくりを進めるためには、道徳教育を進める上で、どのようなことを心がければよいですか。

道徳教育の基盤となる教師と生徒、生徒同士のよりよい人間関係を醸成するためには、日常から一人ひとりを認める学級、学校の雰囲気をつくっていくことが大切です。

実践事例の紹介

1 伝え合う力を育成する

- 子どもの実態把握(心的状況・コミュニケーションスキル)
- 学級の雰囲気を改善することによる学級凝集性の向上
望ましい人間関係づくりを進める上で、生徒の伝え合う力の向上は不可欠であり、実態を把握し、伝え合う力を育成するための学習プログラムを計画した。

2 特別活動や総合的な学習の時間等との関連を図る

- 構成的グループエンカウンター等の活動への取組
- 体験活動と道徳の時間を関連付けた複数時間の学習
体験活動と道徳の時間を関連付け、複数時間からなる学習プログラムを構想するなど、特別活動と道徳の時間との連携を強化した。

3 話し合い活動を通して人間関係を構築する

- 自己理解と他者理解の場としての位置付け
- 生徒同士の学び合いの促進
話し合い活動を中心に位置付けることで、新しい見方や考え方などについて、仲間と共に学び合うことが可能となる。このような活動を通して、自己理解と他者理解の場を位置付け、望ましい人間関係の構築を促進した。



人間関係づくりの充実

- ◎ 教師と生徒が共に語り合える場を日常から設定し、一人ひとりの生徒の理解を深めましょう。
- ◎ 教育活動全体の中で、自己理解と他者理解の場を位置付けて、指導を工夫しましょう。
- ◎ 生徒同士の交流を深め、互いに認め合い、助け合い、学び合う場を積極的に位置付けましょう。

(8) 校内の研修体制の充実（中学校）

生徒の心を育てる道德教育を一層充実させるために、校内の研修体制をどのように充実していけばよいですか。

校長の方針の下、学校が組織体として一体となって道德教育を進めていくために、全教師が力を発揮できるように研修体制を充実していくことが大切です。

実践事例の紹介

3つの部会と研修委員会の設定

道德の時間だけで生徒の心を育てることは難しい。そこで、教育活動全体で取り組む道德教育の視点から、道德授業はもちろん、特別活動等における「人間関係づくり」、各教科における「学び合い」の3つの部会を設定した。さらに、運動会や文化祭、音楽会等の様々な行事を通して充実を図る。

教師はいずれかの部会に所属し、定期的に部会を開催する。各部会での提案事項については、研修委員会で調整を図りながら、全教師が共通理解のもと、指導にあたる。

研修委員会

(校長・教頭・教務主任・研修主任・各部長)

- ・ 研修計画の立案
- ・ 推進校（道德教育）としての研修推進
- ・ 学力向上の計画・推進

1 道德部会

- 道德授業の見直し・改善
- ・ 価値葛藤場面の活性化
- ・ 総合単元的な扱いの工夫



2 人間関係づくり部会

- 学級づくりの工夫
- ・ 人間関係の把握
- ・ 雰囲気づくり
- 発表の場の設定



3 学び合い部会

- グループ学習の推進
- 学習リーダーの養成
- 授業研究の企画・運営



校内の研修体制の充実

- ◎ 道德教育を推進する視点から、研修組織及び研修内容を明確にして、校内の研修体制を構築しましょう。
- ◎ 学校の実態や課題に応じて、機能的な研修体制になるように工夫しましょう。
- ◎ 各部会等における研修の成果や課題については、全教師で共通理解をし、実践を進めましょう。

(9) 道徳教育推進教師を中心とした協力体制づくり（中学校）

道徳教育を一層推進するために、道徳教育の推進を主に担当する教師（「道徳教育推進教師」）の役割として、どのようなものがありますか。

校長が道徳教育の方針を明確にし、全教師が協力して道徳教育を展開するため、道徳教育推進教師の役割を明確にして、各学校での道徳教育を充実させていくことが大切です。

（参照：学習指導要領解説 道徳編 「道徳教育推進教師の役割」）

実践事例の紹介

1 教育活動全体における道徳教育の推進、充実に関すること

例えば、次のように道徳教育推進の方向性を示すことなどが考えられる。

- ① 「道徳の時間」の充実により、道徳的心情と道徳的判断力を身に付けさせ、人間としての在り方や生き方の自覚を深めさせる。
- ② A F P Y（人間関係づくりの実践プログラム）を活用して、自己理解や他者理解を通して、道徳的価値を自覚させる。
- ③ 総合的な学習の時間（全校縦割り班編成）を生かし、集団の一員としての自覚と責任を身に付けさせ、多様な道徳的価値にふれる体験を通して、道徳的実践の場として位置付ける。

2 道徳教育の研修の充実に関すること

例えば、次のような部会を設けて、研修の充実を図ることなどが考えられる。

- ① 道徳・特別活動部会
道徳の時間の指導力向上や、特別活動を通じた人間関係づくりの推進等について協議を深め、全校体制で取り組む。
- ② 教科学習部会
教育活動全体を通じて行う道徳教育という視点から、授業評価をもとに課題の焦点化を図り、全校体制で授業改善に取り組む。
- ③ 学校生活部会
教育相談を中心に据えて生徒の理解に努め、生徒の実態に応じて性教育の指導や生徒自身の生き方にかかわる指導についても研修を深め、全校体制で取り組む。

道徳教育推進教師を中心とした協力体制づくり

- ◎ 生徒の実態や学校の課題に応じて、道徳教育推進教師の役割を明確にしましょう。
- ◎ 道徳教育推進教師のリーダーシップや連絡、調整のもとで、全教師による協力体制を充実させましょう。
- ◎ 道徳教育推進教師を中心にして、道徳教育の全体計画や道徳の時間の年間指導計画に基づいて計画的、発展的な指導を充実させましょう。